

森づくり 人づくり

秋の「緑の募金活動」

今年も秋期「緑の募金」活動が「緑の募金でふせごう地球温暖化」をスローガンとして積極的に展開されています。

秋の募金強化期間は九月・十月です。寄せられた募金は、森づくり（国内の森を元気にする。地球の緑を増やす）・人づくり（森づくりのリーダーを育てる）活動の活性化に活かされています。

高知県では十月一日（土）に街頭募金活動を予定

秋の「緑の募金」活動の一環として、高知市で、十月一日（土）に「街頭募金」活動を実施する予定です。



当日、街頭募金出発式には浅川局長が祝辞を述べられ、その後、街頭に出て「緑の募金」活動も予定されています。（写真は春の募金活動の様子）

誌上 森林環境教育

「二酸化炭素の吸収・固定」

校庭の樹木が吸収する二酸化炭素の量を調べ、1本の樹木が吸収する二酸化炭素の量と1人の人間が呼吸で はき出す二酸化炭素の量を比べる。

展開

樹木の幹の太さ（直径）から、樹木1本の葉の面積の合計を求め1年間に吸収する二酸化炭素の量を計算する。

1本の樹木が吸収する二酸化炭素の量と1人の人間がはき出す二酸化炭素の量を比べる。

身近な比較

・人間1人が呼吸により排出する二酸化炭素は、年間約320kg 80年生のスギ人工林約23本に相当。

・自家用車1台から排出される二酸化炭素は、年間約2,300kg 80年生のスギ人工林約160本に相当。

（大日本山林会 日本の森林と林業より）

このプログラムを小学校等で実践するには、局（四万十川森林ふれあい推進センター）が作成している「森林環境教育プログラム」（H21.3改訂）第2部に「樹木の炭素現存量を測ってみよう」を参考にしてください。

知っ得 豆知識

「木のトゲ」って

植物体の表面にある堅くて先がとがった突起物を総称して「トゲ」。茎や葉に生ずることが多い。植物体に生じたトゲは長い年月の間に、ある部分が変形した結果であると考えられている。

バラ（写真上）やキイチゴ（写真中）のトゲは、もともと樹皮になるべき部分が変形したもの。サボテンのトゲは、茎が多肉で扁平化して葉の機能を持つようになった結果、元来の葉がトゲ状に退化したもの。ハリエンジュ（ニセアカシア（写真下））のトゲは、托葉（葉柄の付け根にある葉）が変形したものとか。いずれにしても、トゲがある理由は正確に分かっていない。

（もっと知りたい森と木の話より）



編集後記

「天高く馬肥ゆる秋」 歳に合わせた運動を始めようか、と思うこの頃。体調に留意を。